

## わらび座の歩み(1951～2018)

	主な出来事	上演作品 (初演のみ)	受賞
1951	2月19日、前身の楽団つばめ創立		
1952	北海道へ渡り、ポプラ座という名称で活動		
1953	新しい日本の歌と踊りの創造をめざして秋田県に入る。仙北郡に移り、大曲市を中心に学校公演などを行う。仙北郡長信田村で初めての一般公演。田沢湖神代に本拠を設ける	日本民謡、朝鮮民謡「朝鮮冬物語」、歌芝居「佐渡狐」、民謡劇「狐山伏」、オペレッタ「ある日の森の物語」、民謡舞踊めぐり「世界の友」、合唱集「フォスター物語」、民謡劇「おんちよろちよろ」、無言劇「瓜盗人」、音楽劇「森でもらった氷の花」、劇「八郎」、民族舞踊集「収穫の歌」他	
1954	秋田県全域、岩手、山形に公演を広げる		
1955	福島、宮城にも公演広がる		
1956	座創立以来、公演回数 1000 回を突破		
1957	この年、公演回数 295 回		
1958	寄金によってブロック稽古場(42 坪)完成		
1959	念願の小型四輪自動車購入	「民謡風土記・秋田篇」他	
1960	保育部が発足	日本民謡集、劇「ざしきぼっこ」他	
1961	<b>創立 10 周年</b> 。関西、四国、名古屋労音との共同企画で労音例会に出演	「民謡風土記・岩手篇」、民族舞踊集「みちのくの太鼓」、劇「かまくら」他	
1962	民族芸術研究所建設総合発展 5 力年計画を発表。演技者養成の学習班発足	民族舞踊集「かがり火」、歌芝居「先君は御名君」、劇「お天狗うさぎ」他	
1963	東京・大阪・横浜労音との共同企画で労音例会に出演。中国、朝鮮、ベトナム訪問公演	歌舞組曲「みちのくの春」、合唱組曲「若い農村」、民族舞踊集「稲とともに」他	
1964	歌舞劇の創造をめざし、鹿児島地方の民謡取材活動に入る	「アジアに昇る太陽」、狂言歌舞劇「かみかり」他	
1965	わらび座編「ベトナム解放歌集」出版	「民謡風土記・山形篇」他	
1966	<b>創立 15 周年</b>	歌芝居「勘定女房」他	
1967	歌舞劇第 1 作「炎の島」完成、全国公演	「炎の島」、民族舞踊集「里のまつり」他	
1968	総合発展計画第 1 次 5 力年計画完了。ベトナム中央歌舞団日本公演に協力、交流	民族舞踊集「海鳴りよ高く」、民謡風土記「津軽のうた」他	
1969	総合発展計画第 2 次 5 力年計画を立案。民族芸術研究所発足	日本のうたと踊り「祖国の土に」、民族舞踊集「庭田植え」他	
1970	歌舞劇第 2 作「東北の鬼」台本完成	組曲「津軽の歌」、沖縄組曲他	
1971	<b>創立 20 周年</b> 。記念作品「東北の鬼」全国公演始まる(初日、仙台市)	「東北の鬼」、詩と音楽による「びんがたの娘」他	
1972	わらび劇場起工式。劇場第一期工事に着手	民族舞踊集「黒潮のうた」他	
1973	わらび劇場第 1 期工事完了。劇場定礎式を行う	民謡風土記「秋田篇・稲みのる」、歌芝居「富くじどろぼう」	
1974	<b>わらび劇場第 2 期工事完成</b> 。1 週間にわたる完成記念公演に約 1 万人来場	日本のうたと踊り「紺碧のうた」他	
1975	この年より、「わらびまつり」として春夏秋冬の交流の集いと劇場公演を行う。5 階建て宿泊施設(現ゆぼぼ)建設	日本の歌と踊り「火の太鼓」「田植え踊り」、音楽物語「太鼓の話」他	
1976	<b>創立 25 周年</b> 。この年から中・高校の「わらび座修学旅行」急増		
1977	スペインのフォーク歌手ライモン氏のコンサートをわらび劇場で公演、1200 人入場。農作業体験修学旅行始まる	若者たちの民族芸能「田植え踊り」、音楽劇「流れ星と俺たち」、民族舞踊集「大地のうた」他	
1978	ベトナム国立歌舞団歓迎大交流会		

1979	ベトナム民族楽団歓迎交流会。第1回田沢音楽祭開かれる	歌舞構成詩「佐渡に立つ波」、民族歌舞集「高なれ結び歌」他	
1980	NHK 教育テレビ「民謡紀行・秋田音頭の里」に出演。NHK 教育テレビ「若い広場—わらび座の二世たち」放映(以後、2回再々放映)	歌芝居「めおと鍛冶」、歌舞構成「沖縄」他	
1981	<b>創立 30 周年記念公演</b> (於:わらび劇場)	合唱構成「世界の風に向かって」他	
1982	初めてアイヌの民族舞踊を取材・舞台化	民族舞踊集「あらぐさの花たち」他	
1983	わらび座合奏団 20 周年記念コンサート		
1984	「東北の鬼」第2次全国公演(85年7月まで)		
1985	写真集「“青春”を見つけに行く旅—わらび座修学旅行」刊行	劇「二月三月物語」他	ベトナム社会主義共和国から友好勲章
1986	<b>創立 35 周年</b>	舞踊集「絆」他	
1987	「わらび座と文化運動を考える会」発足。代表世話人は加藤周一、木下順二、宇野重吉、手塚治虫、山田洋次など各氏。発足記念「歌舞劇シンポジウム」開催。以後、講座などを開催		秋田県芸術文化章
1988	原太郎永眠	歌「輝け君の命」誕生(今も修学旅行のお別れ会で歌われている)	
1989	第1回ヨーロッパ公演(フランス、イタリア、東ドイツ、ソ連)	歌舞集「いのちの歌」他	
1990	「夏の公開講座」開催(主催:考える会。於:わらび劇場)		
1991	<b>創立 40 周年</b> 。第2回ヨーロッパ公演(ドイツ・イタリア・スペイン)	舞踊劇「津軽」、歌舞集「おらだのまつり」他	
1992	<b>温泉ゆぼぽオープン</b> 。第2回アジア公演(香港、シンガポール)		
1993	アジア国際舞踊フェスティバル(JADE)秋田大会の田沢湖会場となる	音楽アンサンブル虹「コウノトリ大空へ」/委託作品:多摩地区東京都移管 100 周年記念多摩歴史ミュージカル「玉の都」(主催:東京都 TAMA らいふ 21 協会)	
1994	「秋田ふるさと村」竣工式記念公演「おらだの四季」とドーム劇場 65 日公演	わらび劇場チーム発足(太鼓ミュージカル「ジャストナウ!」)、「ヤンタ森へ行く」(95年に中央児童福祉審議会推薦文化財に決定)	文部大臣による「地域文化功労者表彰」
1995	<b>わらび劇場常設公演スタート</b> (第1作「男鹿の於仁丸」)。韓国国際舞踊フェスティバル招待公演。日本ブラジル修好 100 周年記念行事認定公演。韓国・光州ビエンナーレ招待公演。阪神淡路大震災後の神戸で慰問公演	「男鹿の於仁丸」、舞踊作品「海ふたたび」他	国土庁の地域づくり表彰において国土庁長官賞。(社)田沢湖町観光協会より感謝状
1996	<b>創立 45 周年</b> 。「たざわこ芸術村」スタート。森林工芸館、きたうら花ねっとスタート。ハンガリー建国 1100 年祭「秋田の日」に秋田県より派遣公演	「春秋山伏記」他	秋田県文化功労賞
1997	<b>田沢湖ビールオープン</b> 。第1回アメリカ公演。フィンランドでのワールドゲームズ・ラハティ大会文化イベントに秋田を代表し、出演	「龍姫」、ミュージックパフォーマンスバンド響「音を売る店」「ヤンタの宝もの」他	
1998	「マルチメディアコンテンツ制作支援事業」でDAFが「民族芸能の3次元デジタル舞踊符」を開発	「いのちの祝祭」(長野オリンピックの文化イベント出演)他	
1999	「第3回北東北知事サミット」の会場となる。財団法人民族芸術研究所創設 30 周年	「菜の花の沖」「山神様のおくりもの」「十三の砂山」他	森林工芸館が秋田民芸協会民芸品コンクールにて「民芸協会会長賞」
2000	冬の小劇場スタート(第1作「北浦おこん」)	「鬼んこおぼこ」、歌舞集「21・飛翔」他	

2001	創立 50 周年。第 6 回ワールドゲームズ(於秋田県)開会式アトラクションの企画・演出・出演。第 1 回「響」韓国公演。第 1 回健康だすかフェスティバル(07 年以降「元気してらがフェス」として現在も継続)	歌舞集「彩風きらり」、「アテルイ」、「テン、テン、テンまで飛んでいけ!」、響「音を売る店Ⅱ」他	東京芸術劇場「ミュージカル月間」選定公演にて「菜の花の沖」優秀賞。情報文化学会でデジタル・アート・ファクトリーが特別賞
2002	NHK 教育テレビで「菜の花の沖」全国放送。第 2 回アメリカ公演)。第 2 回「響」韓国公演。国立劇場の新作歌舞伎「秋の河童」でデジタル・アート・ファクトリーが CG 協力 <参加関連事業>「日韓子ども芸能祭in田沢湖開催」	「つばめ」、「おらとかあちゃんの祝い歌」他	秋田県知事推薦により河北文化賞
2003	京都・清水寺にて「アテルイ」特別法要公演(岩手県共催事業)。<参加関連事業>北東北三県主催「子ども伝統芸能北東北大祭典」	響「ROAD」「雲巖寺の鐘つき男」、他	
2004	「つばめ」韓国公演。「男鹿桜島リゾート HOTEL きららか」オープン。NHK 教育テレビで「響・ROAD」全国放送	「銀河鉄道の夜」「ぶろぼーず」/委託作品:秋田魁新報社創刊 130 年記念提携作品「よろけ養安」。岩手県水沢市依頼による「ドクトル長英」。三重県の委託による熊野古道世界遺産登録記念作品「きらきら風の旅冒険」	第 1 回オーライ!ニッポン大賞。東京芸術劇場「ミュージカル月間」選定公演にて丸山有子が小田島雄志賞。「わくわくコンサート」が(財)児童健全育成推進財団・(財)こども未来財団児童福祉文化賞
2005	NHK 教育テレビで「棟方志功」全国放送。あきたデジタルコンテンツ協議会の DVD「秋田の踊り 20 選」制作スタート	「棟方志功」「お姫さんと牛男」「百婆」他	田沢湖町閉町にあたり産業振興功労者表彰。「ドクトル長英」が第 8 回高野長英賞。田沢湖ビール醸造の品川懸ビールが東京都産業労働局長賞
2006	創立 55 周年・たざわこ芸術村 10 周年「わらび劇場ミュージカル 10 年の軌跡～きらめきの名曲集」特別公演。愛媛県東温市に坊っちゃん劇場オープン。わらび劇場が文化庁「芸術拠点形成事業」に採択され、5 年)にわたって継続支援。第 3 回アメリカ公演(文化庁支援事業)。NHK 教育テレビで「坊っちゃん!」全国放送	「義経」響「トラベラー」「坊っちゃん!」「ここに幸あり」他	八郎湯町より、「一日市盆踊り」秋田県無形文化財指定に関わる感謝状。ジャパン・ビア・カップ 2006 で、田沢湖ビールのアルトが金賞。インターナショナル・ビア・コンペティション 2006 で、田沢湖ビールのケルシュが金賞。障害者雇用優良事業所として秋田県雇用開発協会より表彰
2007	NHK-BS で「小野小町」全国放送。秋田県立大学と連携・協定。<参加関連事業>都会の中学生と秋田の農家「元気交流 30 年リレートーク」(主催:和光中学校秋田学習旅行 30 周年記念実行委員会・秋田県)	「小野小町」「天草四郎」「どっちがどっち!?!」「笛じいちゃんとボクの宇宙」「吾が輩は狸である」/委託作品:新潟市政令指定都市記念ミュージカル「明和義人」	仙北市芸術文化協会より第 1 回仙北市芸術文化賞。インターナショナル・ビア・コンペティション 2007 で、田沢湖ビールのケルシュとアルトが金賞
2008	大仙市より奥羽山荘を無償譲渡。モリボの里の指定管理者となる。秋田大学と連携・協定。秋田県立大学と共同開発で田沢湖ビールより「あきた麦酒 恵」発売	「火の鳥 鳳凰編」「おくのほそ道」「龍馬!」響「ALIVE」「花舞台だよ、おっ母さん」	
2009	わらび劇場にレパトリーシステム導入。農水省の農商工連携施設整備事業にて、芸術村内にモルト工場新設。<参加関連事業>ベトナム国立音楽舞踊団と合同公演「日本・ベトナム 伝統芸能の夕べ」(於わらび劇場・日メコン交流年 2009 企画)	「舞子の蔵」「鶴姫伝説」「カッパのハッカとはるかの夢」「花舞台だよ、おっ母さんⅡ」/委託作品:経済同友会東北ブロック会議特別公演「未来に生きる街」	ジャパン・ビア・カップ 2009 で、田沢湖ビールの W Chocolate bock 銀賞

2010	文化庁「優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業」採択。「あきた海鮮食堂」オープン。NHK教育テレビで「火の鳥 鳳凰編」全国放送。＜参加関連事業＞文化庁「文化芸術創造都市モデル事業」仙北実行委員会。仙北市市制 5 周年記念事業(主催:仙北市 NPO 法人連絡協議会、共催:秋田県)	「アトム」「カンアミ伝」「正岡子規」「キューピットはどこ!？」／委託公演:倉敷音楽祭「四季の詩」、「白瀬中尉物語」ショートステージ	HOTELきららかが、JTB協定旅館ホテル連盟東北支部連合会 2010 年度通常総会で「サービス部門優良ホテル」として特別表彰
2011	<b>創立 60 周年</b> 。わらび座の全公演を東日本復興支援公演と位置づけ、収益の一部を義援金として寄付。被災地で支援公演活動。＜参加関連事業＞文化庁「文化芸術創造都市モデル事業」仙北実行委員会。文化庁助成による仙北市伝統芸能活性化委員会主催「佐藤貞子没後 60 周年記念シンポジウム・フェスティバル」。文化庁「文化芸術創造都市モデル事業」仙北実行委員会(シリーズ「復興と絆—伝統芸能と地域」スタート	「おもひでぼろぼろ」「誓いのコイン」響「走れメロス」「セロ弾きのゴーシュ」「竹取物語」／委託公演:秋田信金 100 周年記念作品「稲穂堂物語」(東日本大震災復興支援公演に変更)、白瀬日本南極探検 100 周年記念プロジェクト・秋田県民ミュージカル「白瀬中尉物語」制作・上演。同作品の親子ふれあいミュージカル版も制作・上演。秋田県からの依頼による「高齢者の自殺予防啓発事業生き生きシアター・笑顔予報は晴れのち晴れ」制作・上演	「アテルイ」が(財)児童健全育成推進財団・(財)こども未来財団児童福祉文化賞
2012	わらび座・蘭州歌舞劇院相互友好公演(「アトム」中国、「大夢敦煌」わらび劇場)。「2012 ブルーベリー in 秋田 with 東北」(主催:日本ブルーベリー協会)の会場となる。＜参加関連事業＞文化庁「文化芸術創造都市モデル事業」仙北実行委員会。仙北市伝統芸能活性化委員会主催「小玉暁村シンポジウム」	「幕末ガール」、舞踊作品「遠野物語/故郷」、「ゆめの革財布」／委託作品:「国民文化祭あきた 2014」の開会式演出・栗城宏、閉会式わらび座プロデュースを受託	ワールド・ピア・アワード 2012 で田沢湖ビールのアルトが金賞。インターナショナルピアノコンペティションで、田沢湖ビールのビルスナー、ヴァイツェンが金賞
2013	<b>秋田定着60周年</b> 文化庁「国際芸術交流支援事業」／日越国交 40 周年記念「日越友好年認定事業」ベトナム公演(ハイ、ホーチミン)。文化庁「短期指名型文化交流使」としてハノイとホーチミンの大学生にソーラン節ワークショップ開催。「リキノスケ、走る」冬の小劇場過去最高観客数となる(8,189 名)	「ブッダ」「げんない」「小野小町」「リキノスケ、走る」	ベトナム諸国友好協会連合会より「諸民族平和友好」記念章授与。ヨーロッパアンビスター 2013 で田沢湖ビールのアルト金賞。ワールド・ピア・アワード 2013 で田沢湖ビールのラオホがスモークビール部門・フラバービール部門で金賞
2014	<b>わらび劇場40周年</b> 「第 29 回国民文化祭・あきた 2014」の秋田県特別協賛事業として、わらび劇場にてミュージカル「げんない一直武を育てた男」ロングラン公演。わらび劇場にて「台湾国際交流フェスティバル」開催(文化庁劇場・音楽堂等活性化事業)＜参加関連事業＞「第 29 回国民文化祭・あきた 2014」オープニングフェスティバルを栗城宏が脚本・演出。同ファイナーレミュージカル「未来に架ける橋」をわらび座が制作・創作。同国際文化フェスティバルをわらび座が制作委託。同仙北市事業「青少年民俗芸能の祭典」(於わらび劇場)の運営協力。同県民参加事業「愛・クニマスコンサート」を栗城宏が演出	「道後湯の里」「風の又三郎」「どんぐりと山猫」「ジュリアおたあ」「笑いは続く GOONGOON！」	ワールド・ピア・アワード 2014 で田沢湖ビールのビルスナーがラガービール・ドットムントスタイル部門で金賞 栗城宏が第 40 回秋田県芸術選奨受賞
2015	秋田市にぎわい交流館 AU 多目的ホールにて初のロングラン公演ミュージカル「政吉とフジタ」。入場者数 23,086 名。主催:同公演実行委員会(秋田	「為三さん!」「舞楽詩・風の又三郎」「政吉とフジタ」「どどお〜ん! 大曲花火物語」	仙北市市制 10 周年に当たり、市の発展に貢献した団体として表彰状 アジアピアカップで田沢湖ビールのアルトが

	県、秋田市、秋田県教育委員会、秋田市教育委員会、秋田魁新報社、秋田商工会議所)。 わらび劇場にて「青少年民俗芸能の祭典 2015」開催(文化庁劇場・音楽堂等活性化事業)、わらび劇場にて「東北 6 県合唱祭」開催(同)、小劇場にて「こまち演劇祭」(同)		金賞。ワールド・ビアアワード 2015 で田沢湖ビールのラオホが、フレハートビールカテゴリー・スモークスタイル部門で金賞
2016	創立 65 周年。たざわこ芸術村 20 周年。4 月 1 日「あきた芸術村」に名称変更。仙北市と包括連携協定調印。旅行事業部門「あきたびくらぶ」業務開始。「DiningKitchen 田沢湖ビール SENDAI」オープン。秋田市にぎわい交流館 AU 多目的ホールにてロングラン公演ミュージカル「新リキノスケ走る」。主催:同公演実行委員会(秋田県、秋田市、秋田県教育委員会、秋田市教育委員会、秋田魁新報社、秋田商工会議所)。 わらび劇場にて「青少年民俗芸能の祭典 2016」開催(文化庁劇場・音楽堂等活性化事業)、わらび劇場にて「東北 6 県合唱祭」開催(同)、小劇場にて「こまち演劇祭」(同)	「ハルらんらん!」「シンドバッドの冒険」「新リキノスケ走る!」「赤いほっぺ」	ヨーロッパビアスター 2016 で田沢湖ビールのアルト金賞
2017	わらび劇場にて「青少年民俗芸能の祭典 2017」開催(文化庁劇場・音楽堂等活性化事業)、小劇場にて「こまち演劇祭」(同)	「ジパング青春記」「KINJIRO!」「東海林太郎伝説」「びっくり理一郎」	ヨーロッパビアスター 2017 で田沢湖ビールのアルト金賞、ワールド・ビアアワード 2017 で田沢湖ビールのピルスナーがトルトムンダー部門で世界一
2018	新チーム「まめでら小町」誕生。わらび劇場にて「青少年民俗芸能の祭典 2018」開催(文化庁文化芸術振興補助金 劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会 「こまち演劇祭」(同)	「北前ザンブリコ」「松浦武四郎」「俺はサムライ・ドラマー!」	田沢湖ビールラベルリニューアル(なまはげデザイン)。ヨーロッパビアスター 2018 で田沢湖ビールのアルト銀賞、ワールド・ビアアワード 2018 で田沢湖ビールのピルスナーがトルトムンダー部門で世界一